

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	◎	－	－	－
	○	商店街（事務局 長）	来客数の動き	・高齢者層の中には外出を控える人が一定数存在するものの、多くの人々が新型コロナウイルスの新規感染者数の増減に一喜一憂することが少なくなり、街にはにぎわいが戻ってきた。
	○	商店街（代表 者）	来客数の動き	・週末を中心に客がかなり増加している。飲食店の中には行列ができるほどにぎわっている店もあり、全体的に商店街に人が戻ってきている。
	○	商店街（代表 者）	お客様の様子	・レジャー産業は来客数が増加傾向にある。行動制限のない年末年始を迎えるため、人の動きが更に活発化することを期待している。
	○	一般小売店〔生 花〕（経営者）	お客様の様子	・仕入価格が上がり商品単価を上げざるを得ないが、行動制限がないことで祝い行事が増加しており、客が高いものでも購入している。
	○	スーパー（店 長）	来客数の動き	・来客数が回復している。
	○	その他小売 〔ショッピング センター〕（総 務部担当部長）	来客数の動き	・全国旅行支援の効果で来客数が増加した。
	○	観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・全国旅行支援の効果で、来客数が新型コロナウイルス感染症発生前の水準に回復している。
	○	旅行代理店（営 業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加傾向にあるものの、全国旅行支援の効果で売上は順調に増加している。
	○	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数は再び増加傾向にあるものの、全国旅行支援等の効果で人の動きが活発化しており、夜の街にも少しずつにぎわいが戻りつつある。
	○	観光遊園地（職 員）	お客様の様子	・観光地に訪れる県外ナンバーの乗用車が増加しており、人の動きが活発化している。
	□	一般小売店〔書 籍〕（営業担 当）	販売量の動き	・売上は前年比で増加しているが、その分仕入価格も上昇しており、状況は変わらない。
	□	スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・値上げ前の駆け込み需要と値上げ商品の買い控えが連続しており、全体的な売上や販売数量は変わらない。
	□	スーパー（人 事）	単価の動き	・依然として食料品やエネルギー価格等の値上げに終わりがみえず、厳しい状況は変わらない。
	□	コンビニ（店 長）	販売量の動き	・売上、来客数共に大きな変化はないが、キャッシュレス決済のポイント還元キャンペーンの反動により、今は客の購買意欲が減退しているように感じる。
	□	コンビニ（店 長）	来客数の動き	・物価高の影響で商品単価が上昇しているなか、来客数は減少しておらず、売上は増加傾向にあるが、経費上昇により利益は減少しており、全体としては変わらない。
	□	コンビニ（総 務）	来客数の動き	・今夏頃から売上は徐々に増加傾向にあるものの、回復スピードに勢いがあるわけではなく、余り状況は変わらない。
	□	コンビニ（商品 担当）	それ以外	・依然として物流費や原材料の価格高騰による商品単価の上昇が続いており、客が買い控えているのではないかと考えている。
	□	衣料品専門店 （経営者）	単価の動き	・天候に恵まれたことで販売数が増加することを期待していたが、販売単価が上昇したことが影響したのか、期待していたほどではなく、依然として少し厳しい状況が続いている。
	□	衣料品専門店 （営業責任者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加傾向にあることや、気温が思ったよりも冷え込んでいないため冬物の動きが悪いことで、依然として低調な状況が続いている。
□	家電量販店（店 員）	販売量の動き	・省エネ家電への買換え需要はあるものの、その他商品は伸び悩んでおり、状況は余り変わらない。	

	□	家電量販店（副店長）	競争相手の様子	・前年度と比較して、プレミアム付商品券や全国旅行支援を利用した家電の購入が減っており、来客数の回復はみられない。
	□	乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・新車の契約者数は新型コロナウイルス感染症発生前と同程度であるが、納車時期が不透明であるため現場は混乱している。
	□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の受注台数は前年並みで推移している。
	□	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・メーカーの生産状況に右往左往する状況が続いている。
	□	通信会社（営業部長）	お客様の様子	・人々の新型コロナウイルス感染症に対する警戒感が薄れてきている。
	□	通信会社（社員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加傾向にあるものの、客の対面拒否等の反応は余りみられない。
	□	美容室（経営者）	お客様の様子	・来客数は徐々に回復しており、安定した状態である。
	□	設計事務所（所長）	お客様の様子	・業績が回復している業種と悪化している業種が入り混じっており、全体の景況感として良いのか悪いのかの判断が非常に難しい状況である。
	▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・地方都市の中心市街地で、環境や状況が好転する要素が見いだせない。郊外大型店では前年比プラスになる傾向がみられるが、新型コロナウイルス感染症発生前の水準の半減に近い数字になっている。社会構造や消費者動向から、今後も新型コロナウイルス感染症発生前を上回ることはないと考えざるを得ない。
	▲	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・商品価格の上昇に伴う買い控えの影響で売上が減少している。
	▲	百貨店（営業統括担当）	来客数の動き	・全国旅行支援や物価上昇の影響で店舗への来客数が減少している。
	▲	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・メーカーからの仕入商品の値上げの影響で客の買上単価は上昇しているが、買上点数が大きく減少している。
	▲	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少傾向にある。
	▲	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大に伴い、主に飲食店での予約の伸びが鈍化するとともに、予約のキャンセルも発生している。
	▲	競輪競馬（マネージャー）	販売量の動き	・物価高の影響で、売上が減少傾向にある。
	▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大の影響で、客の動きが鈍化している。
	×	*	*	*
	◎	—	—	—
企業 動向 関連 (四国)	○	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・全国旅行支援やインバウンド受入れの再開による効果で観光地の来店客が増加しており、小売店からの受注は旺盛である。
	○	鉄鋼業（総務部長）	受注価格や販売価格の動き	・主要材料のスクラップ価格は依然として高水準だがピークは過ぎた感がある。燃料費及び電気料金の燃料費調整額の上限撤廃による負担増の影響もあるが、販売価格の値上げ効果も出始めており、景気は回復傾向にある。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・石炭や石油、天然ガスに代わるバイオ関連の引き合いが増加傾向にある。
	○	通信業（総務担当）	それ以外	・社外イベントやボランティア活動への参加者数や参加頻度が増加傾向にあり、従来のような状況に戻つつある。
	□	農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・例年11月は年末を前に低調な荷動きになる月であるが、基準となる大型野菜が豊作基調により低価格で推移したこともあり、本県の主力である果菜類の価格も低調推移した。
	□	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・受注量は安定しているが、材料価格の高騰は継続しており、厳しい状況は変わらない。
	□	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・実需が増加している実感はなく、現在増加している受注量は資材不足の先行き手配によるものであり、どこかの時点で減少すると予想する。依然として厳しい状況は変わらない。

	□	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・ウクライナ情勢の長期化や急激なインフレ、円安進行などにより、原材料価格の高騰や物流環境の悪化が進んでおり、依然として厳しい状況が続いている。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・上半期は公共事業の受発注量が堅調であったが、下半期に入ってからは前年比2割程度減少した水準で推移している。全体として景況感は余り変わらない。
	□	輸送業（経営者）	それ以外	・ウクライナ情勢が長期化しており、景況感是不透明である。
	□	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・一般消費財を中心とした商業貨物のうち、特に小口積合貨物の取扱物量に回復がみられない状況にあり、依然としてコロナ禍による生活様式の変化や物価上昇による消費の減退が大きく作用していると推測する。
	□	輸送業（経理）	受注量や販売量の動き	・海外向け、国内向け共に出荷数量に変化はない。
	□	金融業（副支店長）	取引先の様子	・仕入価格は上昇傾向にあるものの、販売価格への転嫁や来客数の増加等により、業績への影響は特はない。
	▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事の受注が激減したことに加え、民間からの受注も少なく、厳しい状況である。
	▲	税理士事務所	取引先の様子	・原材料の価格高騰などにより取引先の経営状況が苦しくなっている。
	×	—	—	—
雇用 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	求人情報誌（営業）	求人数の動き	・新卒、中途採用共に求人数が増加傾向にある。特に県内中小企業からの中途採用の引き合いが増加している。
	○	職業安定所（求人開発）	それ以外	・新規求職申込件数はそれほど伸びていないが、新規求人数は増加している。結果として、紹介件数は減少しているものの、就職件数は微増である。
	□	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣の求人数は一定数あるが、ミスマッチや求職者数の不足により、就労につながらないことが多い。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・広報の動きはますます鈍化している。ディーラー関連の求人広告も部品供給不足に伴う業績不振の影響で低調に推移している。
	×	—	—	—